



2023年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年12月15日

上場会社名 株式会社モルフォ 上場取引所 東
 コード番号 3653 URL <https://www.morphoinc.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平賀 督基
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 内田 明美 TEL 03-6822-2629
 定時株主総会開催予定日 2024年1月30日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年1月31日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期の連結業績（2022年11月1日～2023年10月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期	2,383	19.3	△244	—	△192	—	△300	—
2022年10月期	1,997	15.4	△588	—	△510	—	△668	—

(注) 包括利益 2023年10月期 △250百万円 (—%) 2022年10月期 △599百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年10月期	△58.53	—	△9.2	△5.1	△10.3
2022年10月期	△130.04	—	△17.7	△12.1	△29.5

(参考) 持分法投資損益 2023年10月期 12百万円 2022年10月期 9百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年10月期	3,707	3,148	84.9	613.93
2022年10月期	3,860	3,399	88.1	662.79

(参考) 自己資本 2023年10月期 3,148百万円 2022年10月期 3,399百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年10月期	△267	△92	△16	2,712
2022年10月期	△415	161	△176	3,059

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年10月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2024年10月期の連結業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,900	21.7	200	—	200	—	139	—	27.10

(注) 当社は年次で業績管理を行っているため、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2023年10月期	5,414,000株	2022年10月期	5,414,000株
2023年10月期	284,964株	2022年10月期	284,964株
2023年10月期	5,129,036株	2022年10月期	5,139,772株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年10月期の個別業績（2022年11月1日～2023年10月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期	1,592	15.0	△291	—	△265	—	△364	—
2022年10月期	1,384	12.3	△638	—	△569	—	△801	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期	△71.05	—
2022年10月期	△155.94	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
2023年10月期	3,196	2,866	89.7	558.95		
2022年10月期	3,517	3,188	90.6	621.67		

(参考) 自己資本 2023年10月期 2,866百万円 2022年10月期 3,188百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の世界経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制限が緩和され、持ち直しの傾向がみられるものの、多くの国でインフレが依然高水準で推移するなか、原材料価格高騰リスクの顕在化により、先行きが不透明な状況が続いております。一方で、IT業界においては、AIやIoT、5G（第5世代移動通信システム）といったデジタル技術を活用したデジタルトランスフォーメーション（DX）の企業ニーズの高まりを受け、関連市場は良好な状況が続いております。

このような状況下において当社は、2022年10月期より中期経営計画「Vision2024」を策定し、「Rise above what we see, to realize what we feel -人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう-」をビジョンに掲げ、テクノロジーによるイノベーションを通じて顧客価値の最大化を目指しております。また、生活の利便性向上、安心安全な生活環境の提供、生産性向上の実現による社会問題解決への貢献に取り組んでまいりました。当社グループでは、スマートデバイス、車載/モビリティ、DXの事業領域を戦略領域と定め、これら戦略領域においてイメージングテクノロジーを軸にした付加価値の高いソリューションを開発することで、顧客企業の課題解決を図ってまいります。戦略領域において、パートナー企業や顧客企業との連携を推進し、当該領域におけるドメインナレッジを蓄積して、継続性と収益性の高いストック型のビジネスモデルにより事業拡大を目指しております。

スマートデバイス領域においては、スマートフォンとPC向けのソリューション開発及び営業活動に注力いたしました。Qualcomm Technologies, Inc.等の大手半導体チップメーカーとの連携を積極的に推進し、各社のチップセット採用動向をタイムリーに把握することで開発投資の最適化を図ってまいります。

車載/モビリティ領域においては、株式会社デンソーとの車載機器向け共同研究開発に加えて、同社のAI運転支援システム向けの動画解析AI技術の開発を支援し、高齢者安全運転支援の実証実験に寄与いたしました。また、新規顧客開拓や自社プロダクト営業活動に注力いたしました。

DX領域においては、国立国会図書館のOCR処理プログラムを活用して開発した近代書籍対応のAI-OCRソフト「FROG AI-OCR」の営業活動に注力し、滋賀県立図書館や順天堂大学、ボローニャ大学、沖縄県豊見城市等での利用が開始いたしました。引き続き、近現代の書籍・雑誌のテキスト化ニーズを持つ自治体や地方図書館、大学等への展開を進め、更なる事業拡大を図ってまいります。また、監視カメラ向けソリューションについてもパートナー企業との連携を強化し事業活動が進捗しております。

この結果、当連結会計年度における売上高は2,383,343千円（前連結会計年度比19.3%増）、営業損失は244,356千円（前連結会計年度は営業損失588,409千円）、経常損失は192,951千円（前連結会計年度は経常損失510,857千円）、親会社株主に帰属する当期純損失は300,183千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失668,391千円）となりました。

売上高については、スマートフォン・PC向けのロイヤリティ収入が大幅に増加したことに加え、車載・DX向けの開発収入が堅調に推移したことが増加要因となります。また、利益構造の改善および減損損失計上額の減少により、親会社株主に帰属する当期純損失が改善いたしました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	前期比	
	(自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	増減額	増減率
売上高	1,997	2,383	386	19.3%
売上総利益	952	1,357	405	42.5%
営業利益	△588	△244	344	-
経常利益	△510	△192	317	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△668	△300	368	-

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	前期比	
	(自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	増減額	増減率
ロイヤリティ収入	959	1,247	287	30.0%
開発収入	825	1,026	200	24.3%
その他収入	211	109	△102	△48.3%
合計	1,997	2,383	386	19.3%

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産合計は、3,330,145千円(前連結会計年度末比262,685千円減)となりました。これは主に、現金及び預金が347,502千円減少したことによるものであります。

固定資産合計は、377,313千円(同110,013千円増)となりました。これは主に、有形固定資産が26,938千円、投資有価証券が74,088千円増加したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は3,707,458千円(同152,671千円減)となりました。

(負債)

流動負債合計は、508,962千円(前連結会計年度末比56,349千円増)となりました。これは主に、未払金が52,296千円増加したことによるものであります。

固定負債合計は、49,630千円(同41,610千円増)となりました。これは主に、繰延税金負債が18,854千円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は558,592千円(同97,959千円増)となりました。

(純資産)

純資産合計は、3,148,866千円(前連結会計年度末比250,631千円減)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が300,183千円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,712,474千円(前連結会計年度末比347,502千円減)となりました。なお、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、267,617千円(前連結会計年度は415,530千円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失258,238千円、減価償却費30,890千円、減損損失66,137千円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、△92,497千円(前連結会計年度は△161,376千円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出59,704千円、無形固定資産の取得による支出37,898千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、16,211千円(前連結会計年度は176,433千円の支出)となりました。これは主に、リース債務の返済による支出16,211千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の見通し(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

当社は、2021年12月10日に、2022年10月期に開始する3カ年の中期経営計画「Vision2024」を公表いたしました。主な内容は以下のとおりです。

(ビジョン)

Rise above what we see, to realize what we feel -人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう-

(経営目標)

イノベーションを通じて顧客価値を最大化する

(基本戦略)

特定セグメントに経営資源を集中し、競合との差別化を実現

なお、中期経営計画「Vision2024」3年目となる2024年10月期の連結業績予想につきましては、以下の通りです。

(次期の業績予想)

項目	金額(百万円)	増減比(%)
売上高	2,900	21.7
営業利益	200	-
経常利益	200	-
親会社株主に帰属する当期純利益	139	-

上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な環境の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当連結会計年度 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,059,977	2,712,474
売掛金	427,076	521,272
契約資産	64,072	—
仕掛品	10,115	33,555
前払費用	17,939	61,120
その他	19,693	6,378
貸倒引当金	△6,045	△4,656
流動資産合計	3,592,830	3,330,145
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,420	4,153
減価償却累計額	△1,132	△689
建物(純額)	288	3,463
車両運搬具	5,912	5,921
減価償却累計額	△2,709	△4,194
車両運搬具(純額)	3,202	1,727
工具、器具及び備品	241,580	246,195
減価償却累計額	△230,457	△233,822
工具、器具及び備品(純額)	11,122	12,372
リース資産	40,063	39,136
減価償却累計額	△29,147	△4,232
リース資産(純額)	10,915	34,904
有形固定資産合計	25,529	52,467
無形固定資産		
ソフトウェア	—	12,539
無形固定資産合計	—	12,539
投資その他の資産		
投資有価証券	192,749	266,838
繰延税金資産	4,626	5,030
破産更生債権等	67,911	61,503
その他	26,044	22,085
貸倒引当金	△49,560	△43,152
投資その他の資産合計	241,770	312,305
固定資産合計	267,300	377,313
資産合計	3,860,130	3,707,458

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当連結会計年度 (2023年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	126,947	95,246
未払金	80,540	132,837
未払法人税等	21,836	20,154
未払費用	24,236	37,727
契約負債	154,144	153,216
役員賞与引当金	5,058	19,000
預り金	16,241	14,955
その他	23,605	35,824
流動負債合計	452,612	508,962
固定負債		
繰延税金負債	5,197	24,052
資産除去債務	2,248	2,259
その他	573	23,318
固定負債合計	8,020	49,630
負債合計	460,632	558,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,783,958	1,783,958
資本剰余金	1,732,628	1,732,628
利益剰余金	189,395	△110,787
自己株式	△370,999	△370,999
株主資本合計	3,334,983	3,034,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,777	54,497
為替換算調整勘定	52,737	59,568
その他の包括利益累計額合計	64,515	114,066
純資産合計	3,399,498	3,148,866
負債純資産合計	3,860,130	3,707,458

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	当連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
売上高	1,997,017	2,383,343
売上原価	1,044,944	1,026,269
売上総利益	952,072	1,357,074
販売費及び一般管理費	1,540,482	1,601,431
営業損失(△)	△588,409	△244,356
営業外収益		
受取利息	516	440
持分法による投資利益	9,433	12,513
為替差益	60,868	18,982
助成金収入	—	12,859
受取分配金	1,705	381
受取保険金	—	6,676
その他	8,125	1,327
営業外収益合計	80,650	53,182
営業外費用		
支払利息	1,260	722
支払手数料	1,365	393
解約違約金	420	660
その他	51	1
営業外費用合計	3,098	1,777
経常損失(△)	△510,857	△192,951
特別利益		
固定資産売却益	—	850
特別利益合計	—	850
特別損失		
減損損失	92,263	66,137
特別損失合計	92,263	66,137
税金等調整前当期純損失(△)	△603,120	△258,238
法人税、住民税及び事業税	69,897	42,349
法人税等調整額	△4,626	△404
法人税等合計	65,271	41,944
当期純損失(△)	△668,391	△300,183
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△668,391	△300,183

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	当連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
当期純損失(△)	△668,391	△300,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,777	42,720
為替換算調整勘定	56,678	6,830
その他の包括利益合計	68,455	49,551
包括利益	△599,935	△250,631
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△599,935	△250,631
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,783,958	1,732,628	847,271	△210,205	4,153,653
会計方針の変更による累積的影響額			10,516		10,516
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,783,958	1,732,628	857,787	△210,205	4,164,169
当期変動額					
自己株式の取得				△160,793	△160,793
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△668,391		△668,391
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△668,391	△160,793	△829,185
当期末残高	1,783,958	1,732,628	189,395	△370,999	3,334,983

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	—	△3,940	△3,940	4,149,712
会計方針の変更による累積的影響額			—	10,516
会計方針の変更を反映した当期首残高	—	△3,940	△3,940	4,160,228
当期変動額				
自己株式の取得				△160,793
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△668,391
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	11,777	56,678	68,455	68,455
当期変動額合計	11,777	56,678	68,455	△760,729
当期末残高	11,777	52,737	64,515	3,399,498

当連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,783,958	1,732,628	189,395	△370,999	3,334,983
当期変動額					
自己株式の取得					—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△300,183		△300,183
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△300,183	—	△300,183
当期末残高	1,783,958	1,732,628	△110,787	△370,999	3,034,800

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	11,777	52,737	64,515	3,399,498
当期変動額				
自己株式の取得				—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△300,183
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	42,720	6,830	49,551	49,551
当期変動額合計	42,720	6,830	49,551	△250,631
当期末残高	54,497	59,568	114,066	3,148,866

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	当連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△603,120	△258,238
減価償却費	128,453	30,890
減損損失	92,263	66,137
持分法による投資損益(△は益)	△9,433	△12,513
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,122	13,942
貸倒引当金の増減額(△は減少)	32	△7,796
受取利息	△516	△440
受取分配金	△1,705	△381
支払利息	1,260	722
助成金収入	—	△12,859
為替差損益(△は益)	△41,099	△20,665
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△850
受取保険金	—	△6,676
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△41,860	△19,546
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,135	△23,439
前払費用の増減額(△は増加)	23,024	△43,705
仕入債務の増減額(△は減少)	12,589	△33,388
未払金の増減額(△は減少)	4,903	53,262
契約負債の増減額(△は減少)	38,713	△2,589
その他	11,925	35,696
小計	△384,558	△242,442
利息及び配当金の受取額	516	440
分配金の受取額	1,705	381
利息の支払額	△1,260	△722
消費税の還付額	10,351	1,134
助成金の受取額	—	11,075
保険金の受取額	—	6,676
法人税等の支払額	△65,145	△46,107
法人税等の還付額	22,860	1,945
営業活動によるキャッシュ・フロー	△415,530	△267,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,180	△59,704
有形固定資産の売却による収入	—	850
無形固定資産の取得による支出	△14,073	△37,898
資産除去債務の履行による支出	△40,810	—
敷金及び保証金の差入による支出	△22,834	△4,291
敷金及び保証金の回収による収入	110,979	8,546
預け金の払戻による収入	176,296	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	161,376	△92,497
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△162,159	—
リース債務の返済による支出	△14,273	△16,211
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,433	△16,211
現金及び現金同等物に係る換算差額	98,855	28,824
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△331,731	△347,502
現金及び現金同等物の期首残高	3,391,708	3,059,977
現金及び現金同等物の期末残高	3,059,977	2,712,474

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前連結会計年度(自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	当連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
1株当たり純資産額	662.79円	613.93円
1株当たり当期純損失(△)	△130.04円	△58.53円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	当連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△668,391	△300,183
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△668,391	△300,183
期中平均株式数(株)	5,139,772	5,129,036

(重要な後発事象)

該当事項はありません。